



# 後半圧巻！ 怒涛のゴールラッシュ！

## 駒澤大学4-2東京学芸大学

ゴールを決め応援席  
へと走る選手たち  
(撮影：清村亮太)

5月19日 13:50 朝鮮大学校グラウンド	
<b>駒大 4 (0-1) 2 東学大</b> (4-1)	
得点者 (アシスト)	
[駒]51分 碓井 [駒]63分 山本(小牧) [駒]80分 山本(田中) [駒]87分 小牧(檜山)	[東]14分 平田(山崎) [東]46分 山崎(佐藤)
<b>KOMAZAWA</b>	<b>TOGAKUDAI</b>
GK② 檜山昇吾(4) DF⑬ 大木 暁(3) DF⑮ 川岸祐輔(3) DF④ 平尾優頼(3) DF③ 田中雄一(4) MF⑥ 若山瞭太(4) MF⑦ 碓井鉄平(4) MF⑪ 小牧成互(3) MF⑫ 久永 翼(2) (62分)キム・デセン(1) FW⑩ 山本大貴(4) (90分)立石忠之(2) FW⑨ 小牟田洋佑(3) (75分)大谷真史(1)	GK⑫ 須賀健太(2) DF⑤ 廣木雄磨(3) (63分)京田寛治(3) DF⑮ 菅 佑也(2) DF② 大里康朗(4) DF⑳ 吉田一彦(1) MF⑭ 佐藤 聖(3) MF⑯ 茶島雄介(4) MF⑰ 平田 惇(1) MF⑧ 佐々木陽次(3) FW⑦ 山崎直之(4) (63分)岡 卓磨(4)
<b>S U B</b>	<b>S U B</b>
GK① 大石健太(4) DF⑤ 伊藤慎人(3) DF③ 鈴木啓晃(1) FW⑧ 畦地健太(4)	GK③ 赤堀洸太(3) MF⑳ 木下晋之介(3) MF⑱ 久保優斗(3) MF⑲ 五十嵐 亘(2) FW⑵ 荒木啓太(3)
<b>MANAGER</b> 秋田浩一	<b>MANAGER</b> 西園聡史
[シュート]8:4 [GK]4:9 [CK] 9:2 [直接FK]12:17 [間接FK]3:8 [主審]新田 守 [観衆]300人	
警告(C) / 退場(S)	
[駒]37分 久永 翼(C) [東]75分 廣木雄磨(C) [駒]90+1分 キム・デセン(C) ※データの左側が駒大	

### 後半4発！鮮やか逆転劇！

先週まさかの逆転負けを喫した2位駒大と、3連勝で勢いに乗る3位東学大との、勝ち点で並ぶお互い重要な上位決戦。この試合は上空の風が非常に強く、駒大は前半風下の中での戦いとなった。その影響か、駒大の特徴であるロングボールからなかなかチャンスを掴めない。「最近早い時間帯での失点が多い」とキャプテン碓井が語るように、この試合も14分に東学大に中央からミドルシュートを決められ、早い時間に失点をしてしまう。1点ビハインドの中早く追いつきたい駒大だが、なかなかいい形が作れずに、前半を0-1で折り返す。

後半、開始直後に試合がいきなり動く。東学大の個人技から中央を突破されシュートを浴びる。このシュートがDFに当たりコースが変わりそのままゴールへ。後半開始直後に2点ビハインドと苦しい状況に立たされてしまう。

しかし、ここから駒大イレブンの反撃が始まる。後半は風上に立ち、ロングボールも自然と前へ運ばれ、ペースを掴む。後半は終始、東学大陣内でのプレーが目立っていた。

すると51分、左からのFKを碓井が直接決め1点差。勢いは止まらず63分、途中出場のキムが左サイドを突破し中へ。小牧のパスを最後は山本が詰めて同点に。さらに駒大ペースで試合は進み、80分には田中のクロスをまたも山本が決めてついに逆転に成功。終了間際にはGK檜山のロングフィードが風に乗ってゴール前へ。ルーズになったところを最後は小牧がヘッドでゴールへ流し込み勝負あり。駒大は2点のビハインドから見事な逆転勝利で難敵東学大を退けた。

「0-2になっても焦りはなかった。毎試合点はとれているので」と小牟田が話すように攻撃陣は好調をキープしているのが見える。

しかし、ここ数試合失点数が多いのが気がかりだ。駒大の多くの選手が語るよう、立ち上がりの失点が多くなっている。「点はいっぱいとれているので、失点を少なくすればもっと上にいけるはず」と話すのは檜山。チームとして守備の連携を高めていけばもっと強いチームになっていくはずだ。次戦は前期最終戦。しっかり勝って中断期間を迎えたい。(権平 雅大)